



タイトル写真左から、「台北市議会本会議場」「富士山紙フェア」「花と緑タウンフェア 大ガーベラ」

発行者 静岡県議会議員
鈴木すみよし事務所

2012年12月議会号
発行日 2013. 1. 20

1. 12月議会(11/30~12/28)そして1年の締めくくり

<12月議会報告>

定例会に必ず上程されるのが「内陸フロンティア」。予防防災と地域成長モデルの両立を目指し、県の目玉施策の一つです。年明けの1月には総合特区に指定され、農地法や税制面での規制の特例措置等が実現できます。ただし、市町がどうこの施策を活用するか、県からの押しつけでなくあくまでも地元主体です。取り組み次第では地域格差が生じることもあり得るこの施策、県議会は地元市町と県の橋渡しで汗をかかねばなりません。

浜岡原発の緊急時の砦となるオフサイトセンターは、現在原発から2.3キロの位置にあります。20キロ離れた静岡空港西隣に移設されます。再稼働問題とは別に使用済み核燃料処理がある以上、万全を期します。

第4次地震被害想定は、来年6月までに、国の公表に県独自のデータを加え、市町単位で被害想定できるように準備を進めています。

エネルギー施策では、地産地消(分散自立型)を進め、太陽光発電では今年度中に8年前倒しで目標の30万KWを達成しました。

県内経済は厳しい状況が続く、各分野での分析を元に支援策を進めています。特に、農林水産分野における

6次化や、新産業分野への支援策が強化されています。しかし、既存の企業に対する支援策は、まだ十分とは感じられず、業界との密な意見交換が必要です。

そのほか、雇用創造、児童虐待防止策、少子化対策などが議案として処理されました。

私の一般質問は後で触れます。

<1年を振り返って>

初めて常任委員会(産業委員会)の副委員長を仰せつかり、商工農林水産・労働・企業局を担当、県内経済の核となる分野を庁内外からじっくり取り組みました。海外進出企業支援など海外戦略まで関わられたことは貴重な体験でした。

11月には約1ヶ月間、H23年度の県決算を担う決算特別委員として審議に参加。約1兆5,000億円の使い道を細かく審議し、県政全体を財政面から分析し確認できたことで、今後の議員活動に大きく役立ちました。

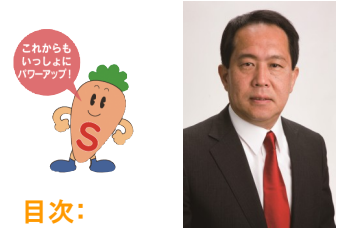
浜岡原発の住民投票条例審議では、県民の安全安心に対する強い想いをしっかり受け止めるとともに、普段から県民に多角的な情報をもっと分かりやすく、伝えていく大切さを再認識しました。今回施行された衆議院議員選挙は政治と国民の関係が問われた選挙でもあり、襟を正していかねばなりません。

2. 平成23年度決算審査

10月24日から11月20日までほぼ毎日、県議20名で構成する特別委員会で県政全般に亘る審査を実施。

一般会計歳入1兆1,498億円、歳出1兆1,350億円、特別会計歳入3,652億円、歳出3,603億円。

審査資料は、監査人から「基金運用審査」「決算審査意見」と、各部から「執行実績」「施策展開表」が提出されたもの。施策展開表は過去5年間と次年度の予算・実績・課題等が記され、県政の動きが見て取れました。



目次:

1. 12月議会 P1
そして1年の締めくくり
2. 平成23年度決算審査 P1
3. 所属する「産業委員会」での質問と答弁 P2
4. 12月議会一般質問および答弁 P2
5. 視察報告 P3
6. 食の都を支える人たち P4
7. 富土地域政策課題と進捗状況(12月の防災訓練) P4
8. ホットなニュース P4
9. 県政相談窓口 P4

ハイライト:

- ・県政を生かすために県と地元行政の橋渡しを
- ・平成23年度決算特別委員会で県政全体が見えた
- ・静岡県の産業実態と課題及び対策
- ・中小企業金融円滑法の期限が到来する。備えは
- ・がん患者の就労支援に積極的に取り組む静岡県
- ・やっと動き出した自殺の原因究明を生かした防止策
- ・議員発議の2つの条例を



平成21年12月以降、25年3月31日で終了する中小企業金融円滑法は、企業運営に大きな影響が。金融機関・商工会議所に相談窓口を設置



約1ヶ月間、ほぼ毎日開催された平成23年度決算特別委員会(議員20名)の様子。



12月に開催された富士市環境フェアで小学生が茶の知識を競う「T-1グランプリ」。子どもの時から茶に関心を。



10月に産業委員会視察として訪問した鹿児島県では、地元出身の人気アイドル「AKB48」のメンバーが観光大使。

1年に一度の一般質問。インターネットで中継され、視聴者から意見をいただいた。1時間の持ち時間を充実するために1ヶ月の事前協議。結果重視が経過軽視の危険

3. 所属する「産業委員会」での質問と答弁 (●は当局答弁概要)

所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。

- (1)静岡県経済産業政策会議における金融円滑化法期限到来への対応状況
 - 全庁的な取り組みと商業団体・金融等関連機関に相談窓口を設置対応。
- (2)新卒者就職支援策のうち、求人開拓事業における情報誌およびHPの活用
 - 「県内企業就職情報誌」を作成し、配布。若者が情報ツールとするHPも充実。
- (3)静岡県食と農が支える豊かなくらしづくり審議会における食料自給率の内容
 - カロリーベースで全国39位。食の都を標榜する県として、自給率向上に向け努力。
- (4)静岡茶の消費拡大への取り組みのうち、メディアを利用した情報発信について
 - メディアに目立つような観光大使を活用するなど、積極的に取り組む。
- (5)花・緑タウンフェアの今後の開催予定について
 - 県内東・中・西部で3回開催。今後平成26年花博10周年に向け全県下へ拡大。
- (6)グッドデザインしずおかの事業における、デザインの戦略的活用方法について
 - 販売戦略の核となるものであるが、取り組みが甘い。海外に負けぬよう努力。

4. 12月議会一般質問および答弁

1. がん患者の就労支援について

静岡がんセンターの平成15年度調査では、がんと診断された勤労者のうち30.5%が治療に専念するために依頼退職し、4.2%が解雇された。医療の進歩によりがんは治療できる病気で社会復帰が可能となったと認識している。静岡がんセンターでは昨年4月からよろず相談に就労支援を実施。沼津法人会の協力の下、職場復帰を支援している。また、社会復帰のためのリハビリにも取り組んでいる。今後、県内がん拠点病院を中心に支援を拡大し、「がん対策推進計画」にがん患者の就労支援を主要な柱として位置づける。

2. いのちを支える“ふじのくに”自殺総合対策行動計画(仮称)について

自殺の原因には様々な社会的、個人的要因が複雑に関連。この原因をできるだけ分析し、施策に反映することが重要。行動計画では「自殺の実態を明らかにする調査・研究の推進」を主要な柱として盛り込む。また、市民団体が実施している「いのちの電話」の存在意義は大きく、24時間実施に向け、相談員の確保と時間延長について努力していく。

3. 緑茶消費拡大のための戦略について

県の緑茶消費拡大施策では、ブランド茶の商品開発や販路開拓を支援。若者に人気のある刑事ドラマの劇場版で、主人公が高級茶の代表として静岡茶を紹介したことを縁に、本県出身プロデューサーや主演俳優に静岡茶を贈呈しPRを依頼。また、画廊において緑茶と花、クラシックを組み合わせた花カフェを実施し、おしゃれな飲み方を提案。東京にて開催された県交流会では著名人等に在京観光案内所での招待券を提供し、静岡茶とお菓子を味わっていただくなどを実施している。「おしゃれな飲み方」を今後も提案していく。

4. 市町における公共部門での県産材利用の促進について

県は積極的に公共部門での県産材利用促進を進めている。しかし、市町においても同様に県産材利用促進が求められるが、その方針を示す「木材利用方針」は、7月まではほとんど進んでいなかった。県としては8月以降、方針が策定していない市町を戸別訪問し、県産材のコスト、製品の情報提供や講習会を実施し、今年度末までに県内8割の市町が方針策定の目途がついた。今後、民間にも働きかけ、県産材消費拡大に向け努力する。

5. 富士山周辺の観光客の動線確保について

国道469号は、富士山世界文化遺産登録を踏まえ、観光振興・産業活性化に向け、渋滞解消や安全性、観光施設などへのアクセスを検証し、今年度末までに整備方針を決める。沼津IC以西の東駿河湾環状道路は、国道1号の渋滞緩和や産業振興の効果が期待でき、関係市町や経済団体と連携し、早期事業化を国に対して積極的に働きかけていく。



5. 視察報告

海外視察(ベトナムに進出する日系企業)



JICA(国際協力機構)ベトナム事務所の所長及びスタッフから日本の貢献策について報告。私の過去も報告された!



JETRO(日本貿易振興機構)ハノイ事務所の所長から、日本からの投資や企業進出の現状報告を伺った。



ハノイに進出したアルミホイールを製造する日系企業ENKEI様の幹部から、ベトナム進出の経緯を伺った。



ハノイにあるヌイチュック日本語センターで学ぶベトナム人学生達。日本語を習得した後の将来の希望を話してくれた。

海外視察(台湾台北市高校生と日本の高校生の交流事業)



台北市議会副議長を表敬訪問。市教育局幹部も同席し、静岡県と台北市の高校生交流の意義について意見交換。



富士市立高等学校の2年生約80名が修学旅行を利用して、泰北高校を訪問し、3日間の交流事業を行った。



泰北高校の授業に体験入学。現地高校生で日本語を学ぶ学生が横に並んで、パソコンの授業を受ける日本の高校生。



台北から日本ツアーを専門に企画する旅行会社の幹部と日台間(静岡県)の交流人口増加の課題について意見交換。

第36回全国育樹祭と県内外のお茶の話題



第36回全国育樹祭が、皇太子殿下のご臨席の下、伊豆あまぎの森で開催された。開催テーマは「木を植えて育てて生かす緑の力」。私も会場内で過去に植樹された樹木の周辺に施肥(育樹)を行った。



有楽町にある静岡県東京観光案内所のスタッフ。Shizuoka Mt. Fuji Green-tea Plazaの名称でおいしい呈茶サービスあり。



鹿児島県の茶取引を行う市場を見学。入札に参加する仲買人達は全自動システムにより効率よく茶の評価ができる。

元気な潤いのある安心安全なまちをめざす各地の取り組み



沼津市で開催された花・緑タウンフェアの開会式。街中が花で埋まり新種の花に感嘆の声が。新たな農業施策の一端。



富士市技能者表彰式に来賓として参加。様々な分野の技能士が長年培った技術を評価された。知人も対象者で歓喜。



吉原地区で開催された交通安全・防犯推進市民大会。各地でも開催され住民が安心安全なまちづくりを呼び掛け合う。



初めて開催された富士山紙フェア。紙のまち富士市をアピールし、停滞する紙産業を復活させる思いが伝わった。

6. 食の都を支える人たち



静岡県は全国一の食材県。この食材をつくる人と食材を使っておいしい料理をつくる人が、食の芸術品(農芸品)を提供。



ふじのくに食の都づくり仕事人の本年度表彰式。産業委員会副委員長の特権で試食させていただいたがさすがが日本一。



こちらは新たに仕事人の認定を受けた皆さん。県下に広がるこの料理人達が、県産食材を使って、美食を提供。



食材を提供する若手の営農家達。6次産業化は当たり前。TPPが導入されても強い農業を目指す頼もしい意見を伺った。

7. 富士地域政策課題と進捗状況(12月の防災訓練)



地元の防災訓練に参加。町内会長や防災委員の皆さんが、防災意識高揚のために、自助・共助の重要性を説く。



会場の中心に整列したのは、隣接する富士市立高校の学生達と在住の中学生達。高齢化が進む中参加は頼もしい。



会場内の公会堂玄関には、東日本大震災の現地被災状況の写真が掲げられていた。風化させまいとの意志表示か。



可搬式消防ポンプを使用した消火訓練をする高校生。いざというとき、設備が動くか、消火作業が速やかにできるか。

8. ホットなニュース

◆ 議員発議により2つの条例を制定

静岡県と外国の地方公共団体との友好交流に関する条例

県単独で決めるのではなく、県議会の議決を必要とする。

静岡県商店街振興及び活性化条例

活性化を推進するため事業者の責務や行政支援を明記。

◆ 原発・総合エネルギー対策議員連盟が発足

浜岡原発住民投票条例の審査を踏まえ、県民の要望に答えるために、国任せでなく県議会としての原子力発電の安全性やエネルギー対策を調査研究する組織を設置。

◆ 県民の要望に応えるための借金(臨時財政対策債)

地方運営には財源不足が伴う。これを補うために国から地方交付税が交付された。しかし、平成13年以降は国の財政危機から交付税額が減り、地方は国が補償する臨時財政対策債という借金が可能となり地方の借金が増えることになった。地方行政運営は黄色信号が点滅している。疑問だ!



通常の訓練では、地域の女性達が炊き出しを行うが、その隣では、高校生が新たな料理の調理方法を学んでいた。



負傷者を担架で運ぶ訓練。力仕事も高校生は機動力発揮。非常時に想定される可能な限りの訓練内容を見直したい。

◆ 12月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書
- ② 中小企業の支援策の拡充を求める意見書
- ③ 専修学校における質の高い職業教育の実現を求める意見書
- ④ 次代を担う若者世代支援策を求める意見書
- ⑤ 自衛隊の定員充足を求める意見書

9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査いたしますので、区別なくお気軽に問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもご返事いたしますが、お時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。



発行者 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先
富士市比奈1418番地の2

Tel 0545-34-0683

Fax 0545-38-0070

メールアドレス: himena@tokai.or.jp

ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>